

安全データシート

1. 製品及び会社情報

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 製品名   | シャーシーブラック 油性                   |
| 会社名   | 株式会社MonotaRO                   |
| 所在地   | 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階 |
| 担当者名  | 商品お問合せ窓口                       |
| 電話番号  | 0120-443-509                   |
| FAX番号 | 0120-289-888                   |
| 整理番号  | M231225                        |

2. 危険有害性の要約

・GHS分類

物理的／化学的危険性

人の健康に対する有害な影響

- ・可燃性／引火性エアゾール区分1
- ・急性毒性(経口):分類できない
- ・急性毒性(経皮):分類できない
- ・急性毒性(吸入:気体):区分に該当しない
- ・急性毒性(吸入:蒸気):分類できない
- ・急性毒性(吸入:粉じん、ミスト):分類できない
- ・皮膚腐食性／刺激性:区分2
- ・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:分類できない
- ・呼吸器感作性:分類できない
- ・皮膚感作性:分類できない
- ・生殖細胞変異原性:分類できない
- ・発がん性:分類できない
- ・生殖毒性:分類できない
- ・特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分3(気道刺激性、麻酔作用)。

・特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(中枢神経) 区分2(肝臓、精巣)。

環境への影響

- ・誤えん有害性:区分に該当しない(分類対象外)
- ・水生環境有害性 短期(急性):区分1
- ・水生環境有害性 長期(慢性):区分1
- ・オゾン層への有害性:分類できない

・GHSのラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険有害性情報:

・危険

極めて可燃性の高いエアゾール。高圧容器:熱すると破裂のおそれ。皮膚刺激。呼吸器への刺激のおそれ。眠気またはめまいのおそれ 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害。長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。水生生物に非常に強い毒性。長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性。

注意書き:

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。裸火または他の着火源に噴霧しないこと。使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。取扱後は手をよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。環境への放出を避けること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

気分が悪い時は、医療処置を受けること。特別な処置が必要である。(ラベル参照)。漏出物を回収すること。皮膚に付着した場合:多量の水等で洗うこと。吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

・施錠して保管すること。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。日光から遮断し、40℃以上の温度に暴露しないこと。

廃棄

・内容物および容器は記載方法にしたがって廃棄すること

|                           |                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3. 組成及び成分情報               |                                                                                                                                                                                                        |
| 物質／混合物の区別                 | ・混合物エアゾール製品                                                                                                                                                                                            |
| 化学名及び濃度:                  | ・最終頁を参照                                                                                                                                                                                                |
| 4. 応急措置                   |                                                                                                                                                                                                        |
| 吸入した場合:                   | ・新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師を呼ぶこと。                                                                                                                                                       |
| 皮膚に付着した場合:                | ・汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。                                                                                      |
| 眼に入った場合:                  | ・水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。                                                                                                                     |
| 飲み込んだ場合:                  | ・吐かせないこと。口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。                                                                                                                                                              |
| 5. 火災時の措置                 |                                                                                                                                                                                                        |
| 消火剤:                      | ・粉末消火剤、散水、噴霧水、一般の泡消火剤。                                                                                                                                                                                 |
| 6. 漏出時の措置                 |                                                                                                                                                                                                        |
| 人体に対する注意事項、<br>保護具及び緊急時措置 | ・漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に入る前に換気する。                                                                    |
| 環境に対する注意事項:<br>回収、中和:     | ・河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。<br>・少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。 |
| 7. 取扱い及び保管上の注意            |                                                                                                                                                                                                        |
| ・取扱い                      |                                                                                                                                                                                                        |
| 技術的対策:                    | ・作業場の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。                                                                                                                                                          |
| 安全取扱注意事項:                 | ・周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。接触、吸入又は飲み込まないこと。空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。取扱い後はよく手を洗うこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。環境への放出を避けること。                                      |
| 接触回避                      | ・「10. 安定性及び反応性」を参照。                                                                                                                                                                                    |
| ・保管                       |                                                                                                                                                                                                        |
| 技術的対策:                    | ・保管場所には貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。                                                                                                                                                               |
| 保管条件:                     | ・熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。酸化剤から離して保管する。容器は直射日光や火気を避けること。容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。施錠して保管すること。                                                                                                             |
| 混触禁止物質:                   | ・「10. 安定性及び反応性」を参照。                                                                                                                                                                                    |
| 容器包装材料:                   | ・消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。                                                                                                                                                                           |
| 8. 暴露防止及び保護措置             |                                                                                                                                                                                                        |
| 許容濃度:                     | (ミネラルスピリットとして)<br>・TLV-TWA 100ppm                                                                                                                                                                      |
| ・保護具                      |                                                                                                                                                                                                        |
| 呼吸用保護具:                   | ・適切な呼吸器保護具を着用すること。                                                                                                                                                                                     |
| 手の保護具:                    | ・適切な手袋を着用すること。                                                                                                                                                                                         |
| 眼及び／又は顔面の保護具:             | ・適切な眼及び顔面の保護具を着用すること。                                                                                                                                                                                  |
| 皮膚及び身体の保護具:               | ・保護衣を着用すること。                                                                                                                                                                                           |

## 9. 物理的及び化学的性質

|                        |        |
|------------------------|--------|
| 物理状態:                  | ・エアゾール |
| 色:                     | ・黒色    |
| 臭い:                    | ・溶剤臭   |
| 沸点又は初留点および沸騰範囲:        | ・データなし |
| 可燃性:                   | ・データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限界<br>／可燃限界: | ・データなし |
| 引火点:                   | ・データなし |
| 自然発火点:                 | ・データなし |
| 分解温度:                  | ・データなし |
| pH:                    | ・データなし |
| 動粘性率:                  | ・データなし |
| 蒸気圧:                   | ・データなし |
| 密度及び／又は相対密度            | ・データなし |
| 相対ガス密度:                | ・データなし |
| 粒子特性:                  | ・データなし |

## 10. 安定性及び反応性

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 安定性:      | ・通常の取扱い条件においては安定 |
| 避けるべき条件:  | ・データなし           |
| 混触危険物質:   | ・データなし           |
| 有害な分解生成物: | ・データなし           |

## 11. 有害性情報

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 急性毒性:             | ・データなし |
| 皮膚腐食性／刺激性:        | ・データなし |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性: | ・データなし |
| 呼吸器感作性／皮膚感作性:     | ・データなし |
| 生殖細胞変異原性:         | ・データなし |
| 発がん性:             | ・データなし |
| 生殖毒性:             | ・データなし |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露):  | ・データなし |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露):  | ・データなし |
| 誤えん有害性:           | ・データなし |

## 12. 環境影響情報

|            |        |
|------------|--------|
| 生態毒性:      | ・データなし |
| 残留性・分解性:   | ・データなし |
| 生体蓄積性:     | ・データなし |
| 土壌中の移動性:   | ・データなし |
| オゾン層への有害性: | ・データなし |

## 13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:

・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装:

・容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

・国際規制

国連番号:

・1950

国連品名:

・Aerosol (maximum 1 litre)

国連分類:

・2.1

容器等級:

—

海洋汚染物質:

・該当

## 15. 適用法令

・消防法: 第4類引火性液体、第1石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)。

・労働安全衛生法:

名称等を通知すべき有害物

(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

(政令番号 第130号 第482号 第551号)

危険物・引火性の物

(施行令別表第1第4号)

第3種有機溶剤等

(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第5号)

## 16. その他の情報

・データなし

CAS No

8052-41-3

1333-86-4

非開示

74-98-6

106-97-8

化学名及び濃度:

・ミネラルスピリット (Mineral spirit)

wt%

52.8

・カーボンブラック (Carbon black)

0.7

非開示

12.5

・プロパン (Propane)

6.8

・ブタン (Butane)

27.2